

令和4年度 事業報告

I 事業の概要

1. 美術館開館事業

(1) 令和4年春季特別展 茶道具取合展「蒼天」

期 間 令和4年3月5日～令和4年6月12日

新型コロナウイルス対応については小康状態になったので、連絡先カードは省略し、検温のみ実施した。前年度はコロナウイルスの蔓延で4月27日以降休館にしており、262%の増加となった。

(令和4年度春季開館日数 63日間)

(2) 令和4年秋季特別展 茶道具取合展「時雨降る」

期 間 令和4年9月10日～令和4年12月4日 (開館日数72日)

新型コロナウイルス拡大防止の観点より「ご来場の皆様へ」の表示を行い、防止対策を行ったうえで実施した。10月8日から京都博物館で「茶の湯」の展覧会が開催され、主催者である読売新聞社が、開催記念スタンプラリーを実施し、当館も参加したこともあり、前年比137%の入館収入があった。

(3) 令和5年春季特別展 茶道具取合展「若葉時」

期 間 令和5年3月11日～令和5年6月11日

(令和4年度開館日数23日)

新型コロナウイルス対応については検温は行わず、マスク着用に関しても来館者の自主判断とした。

(4) 入館者数、入館料収入

展示会名	開館日数	入館者数							入館料収入
		一般	学生	団体			身障者 他	合計	
				一般	同門会	学生			
¥600	¥400	¥500	¥450	¥300					
蒼天	63	528	52	692	83	6	25	1,386	¥722,750
時雨降る	72	883	47	1,016	252	0	14	2,212	¥1,170,000
若葉時	17	162	23	17	34	0	5	241	¥130,200
令和4年度	152	1,573	122	1,725	369	6	44	3,839	¥2,022,950
(参考) 令和3年度	116	965	110	1,356	157	0	48	2,636	¥1,371,650
(参考) 令和2年度	108	769	101	631	95	0	45	1,641	¥860,050
(参考) 令和元年度	170	1,839	93	1,834	312	71	134	4,283	¥2,219,300

注 同門会は表千家同門会会員

2. 四君子苑開苑事業

① 春季公開について

新型コロナウイルス拡大防止対策については連絡票の記入依頼は行わずに、駐車場で京博ボランティアによる手消毒と検温を行い実施した。

又、建物内部でのガイドは行わず、団体客の予約は受け付けないことにした。

入苑者制限を当初は40名としたが、平日は入場制限を行う必要がなく、順調であった。16日(土)・17日(日)は40名を超える時間帯が発生したため、50名に上限を引き上げ、待ち時間は約15分以内で運営ができた。

前年度の春季公開に比し入苑者・入苑料共に125%で、100名超の日は3日間あった。

② 秋季公開について

春季公開と同様の新型コロナウイルス拡大防止対策を行った上で開苑した。

団体客の受入に関しては事前に元教員グループから10月27日の見学希望があり、

臨時公開することとした。その後、8月に旅行会社より団体受入れの申し出があり、

10月27日以外もツアーを組みたいとの強い打診があったため、11月3日、及び5日も

臨時公開することとした。

一般公開については初日から100名超になり、11時以降待ち時間が発生する事態

となり、一時入場制限を行ったが、待ち時間は10分～20分以内に収まり、顧客誘導に

関してスムーズな運営ができた。2日目以降も連日100名超の入苑者があった。

(1) 入苑者数、入苑料収入

公開日				
月	日	相手先	人数	金額
4月	12日	一般公開	98	¥951,000
	13日		82	
	14日		76	
	15日		105	
	16日		142	
	17日		131	
小計			634	
10月	18日	一般公開	117	¥1,353,000
	19日		132	
	20日		112	
	21日		118	
	22日		162	
	23日		140	
	27日	団体向 臨時公開(3団体)	74	
11月	3日	同上 (1団体)	22	
	5日	同上 (1団体)	25	
小計			902	
合計			1,536	¥2,304,000

(2) 入苑者数、入苑料収入比較

公開年度	開苑日数	入苑者数	入苑料収入
令和4年度	15	1,536	2,304,000
令和3年度	14	1,248	1,972,000
令和2年度	8	551	828,500
令和元年度	15	1,350	2,025,000

3. 四君子苑貸出事業

団体客(クラブツーリズム東京)の見学が午後であるため、午前中に貸出を行ったもの。
建築の専門家であり、元安藤建築事務所勤務で独立されている方は、吉田五十八設計の母屋を最大限に褒めておられた。

相手先	日	場所	内容
三井嶺建築設計事務所	令和4年 11月5日	四君子苑 建物・庭園	京都の建築事務所 6名

4. 館外展示事業(お茶会)

館外展示茶会名	期間	場所
江岑宗佐350回忌追善法要茶会 (主催者 表千家同門会 京都支部)	10月6日・7日	大徳寺 玉林院
知足会 茶会 (席主 北村美術館)	10月9日	名古屋美術倶楽部
北野天満宮献茶会 (主催者 堀内社中後援会)	12月1日	北野天満宮

5. 館外展示事業(貸出)

展示会名	貸出美術品	展示期間	展示場所
歌枕ーあなたの知らない心の風景ー	瀬戸茶入 銘 広沢 吸坂焼武蔵野皿 5 客	6月29日 ～ 8月28日	サントリー美術館
生誕130周年 特別記念展 「描く・飾る・デザインする ー堂本印象の流儀ー」	松桐鳳凰文様振袖 竹牡丹孔雀紋様振袖 梅鶴文様振袖	12月3日 ～ 令和4年 3月21日	堂本印象美術館
光悦会(善田昌運堂へ貸出)	拾遺古徳伝絵巻断簡 絵本着色	11月11日 ～13日	光悦寺

6. 撮影掲載料(掲載)収入について

依頼先	雑誌・書籍名等	掲載する館蔵品名
公益財団法人 日本習字教育財団	教育書道日本習字かな部 8月号 [古筆に会える美術館・博物館]に掲載	石山切紀貫之集下 断簡
株式会社 淡交社	「淡交」(8月号) 特集「新発田藩溝口家の数寄」 (執筆:宮武慶之氏)に掲載	小堀遠州作 茶杓 銘 式部卿様まいる
フジテレビ 株式会社ハイホーTV	フジテレビ番組 「林修のニッポンドリル」において「学者とめぐる清水寺」の中で 「梟の手水鉢」を紹介する際にそのモデルとなった「鶴の塔」の 写真を掲載	重要文化財 宝篋印塔「鶴の塔」
(公社)日本陶磁協会	『陶説』8月号 宮武氏の寄稿「陶磁への眼差し -松平不昧の 遺響」に使用のため (R4.8.1 発行)	高台寺蒔絵 大棗
カーサブルータス	カーサブルータス【茶の湯ムック】で2018年、2019年に出版した「茶の湯」特集号から好評だった記事をまとめた合本を9月末発売で「色絵鱗波文茶碗」を再掲載	仁清 色絵鱗波文茶碗
PHP研究所	平成27年4月11日に榊星の環会に画像提供を行ったが、中国の国営企業の出版社に2次使用のため許可依頼があったもの。内容は子供のための色彩教育に、誌面に著名な画家の絵や美術品等を掲載し色の勉強をする「色のまなび辞典」に掲載	蕪村筆 鳶鴉図双幅
株式会社 淡交社	『見所がわかる 茶の湯のやきもの鑑賞入門』(仮題)に掲載のため。 (2023年2月 刊行予定)	・呉須菱馬手水指 林和靖図 ・交趾台牛香合 (全体 及び 底部分) ・金海猫搔茶碗 ・朝鮮唐津水指
東京書籍(株)	令和5年度 高等学校教科書「精選古典研究【古文編】」 デジタル発行物に掲載 著作権利用期間 2023年4月1日～2027年3月31日	蕪村筆 鳶鴉図双幅
(株)ネクサス 開運!なんでも鑑定団	本放送:2023年1月17日(火) 20:54～21:54 地上波再放送 本放送から約4ヶ月後 日曜日 12:54～14:00 BS再放送 本放送から約3ヶ月後 木曜日 19:49～20:49 インターネット配信:計4社	御本立鶴茶碗 銘「池水」 雲鶴狂言袴茶碗 銘「疋田筒」
株式会社 大有 月刊茶道具「遠州」	月刊茶道具「遠州」2023年3月号 2023年3月1日発行 に掲載	朝鮮唐津一重口水指
(株)ネクサス 開運!なんでも鑑定団	本放送:2023年3月28日(火) 20:54～21:54 地上波再放送 本放送から約4ヶ月後 日曜日 12:54～14:00 BS再放送 本放送から約3ヶ月後 木曜日 19:49～20:49 インターネット配信:計4社	野々村仁清 作 重要文化財 「色絵鱗波文茶碗」

7. 撮影掲載料(撮影)収入について

依頼先	撮影目的	出版物 または、放送内容	撮影掲載する館蔵品名
株式会社 淡交社	『茶の湯の茶碗』 第2巻「高麗茶碗」に掲載 のため	『茶の湯の茶碗』 全5巻の第2巻	御本立鶴茶碗 銘 池水
テレビマンユニオン	NHK BSプレミアム 「美の壺～織部焼篇」 にて放映のため	NHK BSプレミアム 「美の壺～織部焼 篇」 令和4年8月5日 午後7時半-30分 (1・2週間後 再放 送、及び 国際放送 他でも放送予定)	重要文化財 織部松皮菱形手鉢
京都藝術大学 出版部 藝術学舎	京都芸術大学通信教育 部「デザイン科建築デ ザインコース」のテキ ストに掲載(文部科学 省に単位として認定さ れている講座)	はじめて学ぶ芸術 の教科書 デザイ ン編 各建築編	四君子苑 (建物中心)